

(村上 地区)

令和2年度の地域包括支援センターの活動と課題について（自由記載）

一般介護予防事業

○元気クラブ

全20回（9月～翌年3月）実施。定員20名。脳活性化プログラムを通して要介護状態の発生を防ぐ事業。参加者の多くがリピーターである。次年度はレクリエーション協会で自主事業化する。

○転倒予防教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ウェルネス村上に委託している40町内で、9月から順次開催。

元気応援通所サービスC

○元気応援むらかみ教室

全15回（9月～12月）実施。事業対象者に個別郵送し、16名参加申し込みあり。運動・栄養・口腔の総合型プログラムを行う。継続修了者は15名。

ケアマネジメント支援

○ケアマネ連絡会

年5回開催。市や包括からの情報提供や、事例研究を年2回行い、グループワークで検討を行い、ケアマネジメントのスキルアップを図った。

生活支援体制整備

○むらかみ互近所ささえ～る隊

コロナ禍で関係機関との情報交換会や町内・集落座談会などが延期や中止となったため、まち協だよりにささえ愛隊長のメッセージ等を掲載してもらった。瀬波地区の高齢化率の高い町内を対象に、タクシーや巡回バスを活用した住民主体の買い物支援の取り組みが始まった。

任意事業

○認知症カフェ

マナーボーテ村上を会場に年7回開催。ミニ講座等も行い、参加者への情報提供を行った。

○認知症サポーター養成講座

市内8か所で実施し、259人が受講した。地域のお茶の間、銀行などでも開催できた。

R3年度の取り組み（自由記載）

○みんなで笑おう㊦元気アップ教室

転倒予防教室から名称を変えて、各集落で実施。元気クラブの内容も取り入れながら、身近に通える地域で介護予防に取り組んでいる。

○元気応援むらかみ教室

1クール20回（7～12月）実施予定。その後は、「しゃっきり教室」への参加勧奨し運動継続を促す。

○むらかみ互近所ささえ～る隊

今年度2回ささえ～る隊会議を開催。各地区での周知活動や座談会等の働きかけを行っていく。

○ケアマネ連絡会

年5回開催予定。事例研究も行い、ケアマネジメントのスキルアップを図りたい。

○認知症カフェ

マナーボーテ村上を会場に、月1回開催。情報提供をしたり、また参加者の居場所となるよう工夫しながら取り組む。

○認知症サポーター養成講座

今年度は3か所、JR村上駅等で開催。今後桜ヶ丘高校でも開催が予定されている。